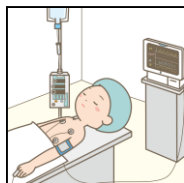
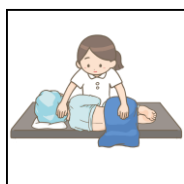


## 「脊椎麻酔で手術を受けられる患者さまへ」

①心電図や血圧計を装着していきます。



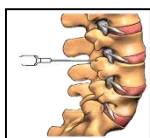
②脊椎麻酔の準備をしてきます。体を指示された側に横へ向けて背中を丸めます。



曲げることで股関節や膝に痛みがでる方は教えてください。

③しっかりと背中を丸めることで背骨が開きやすくなり麻酔しやすくなります。

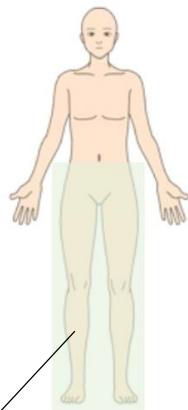
麻酔中は向かい側の看護師の指示に従ってください。



神経が近いため急には動かないでください。

注射の途中でも、痛み止めを追加できます。痛みが強い場合は教えてください。

④麻酔後は次第に下半身がしびれて、感覚がなくなります。



麻酔範囲

麻酔の効き具合を確認するために、氷などを麻酔の部位に当て、麻酔の範囲を確認します。

麻酔の効果は、薬剤注入後から3～5時間程度持続します。

## 手術中

### 下半身麻酔での手術中の過ごし方について



麻酔の効果が確認できたら、手術中は眠っていただくことも可能です。ご相談ください。

## 手術終了後

- 手術後は麻酔の影響で足が動きません。病棟へ帰室後、徐々に感覚が戻ってきます。
- まれに麻酔の影響で頭痛が起きることがあります。頭を動かすことで悪化するため、なるべく頭を動かさないようにしてください。寝返りなどの際は、病棟看護師へご相談ください。
- 痛みや吐き気を生じる場合は、お薬がありますので、病棟の看護師に申し出てください。